

一般質問

議員13人から一般質問21件

一般質問とは？

議員1人につき60分の持ち時間を設定し、その中で町が行っている事業の現況や将来の方針に関して、町長や教育長に質問したり、政策提言や問題提起をします。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたります。

一般質問は深い議論を行うため、原則としてあらかじめ通告しておくことになっています。



議長席から見た議場（後方は傍聴席）

第10期介護保険制度の 改定について



町長 保険財政の試算などを踏まえ、適切に判断していく

質問 介護保険制度は、法施行から25年が経過した。制度の改定ごとに、保険料や利用料が値上げされ、被保険者の負担が増えた。そこで、次の4点について所見を伺う。

問① 第10期介護保険制度の具体的改定の検討内容は、計画は、国の基本指針に沿って策定する。社会保障審議会介護保険部会の議論の状況を注視していく。

問② 保険料は、介護給付費準備金の活用で引き上げを抑えるべきと考えるが。

町長 サービス見込み量と保険財政の試算を踏まえ、適切に判断していく。

問③ 物価高における小規模事業者への支援は、**町長** 経済情勢の変化が大きく、介護事業以外にも影響が広がっていることから、国や東京都の動向を踏まえ、判断していく。



長岡コミュニティセンター内にある西部高齢者支援センター

問④ 在宅で家族介護している方々に、「家族介護慰労金」を検討すべきと考えるが。

町長 制度の対象となる方の在宅生活を適切に支えていくには、専門家の助言やサービスを受けられる保険制度の利用が必要。慰労金の増額や他の制度の創設は考えていない。

森 亘 議員（自民誠和会）

マイクロクレデンシャル化 で協働のまちづくり推進を



町長 国や他自治体の動向を注視していく

質問 住民と町職員の経験や学び、貢献を見える化し、まちづくりへの参加意欲の向上と人材育成につなげるためにマイクロクレデンシャル化すべきと考え、次の4点を伺う。

問① マイクロクレデンシャルやオープンバッジの認識は、**町長** マイクロクレデンシャルは、短期間の講義や特定の講座で取得した技術や知識を証明する学習証明で、オープンバッジは、その学習証明がデジタルで保存されているものと理解している。

問② 学習支援、見守り、防災など、各種ボランティアの活動

町長 マイクロクレデンシャルは、短期間の講義や特定の講座で取得した技術や知識を証明する学習証明で、オープンバッジは、その学習証明がデジタルで保存されているものと理解している。



令和7年度 瑞穂ふるさと大学認定証授与式

マイクロクレデンシャル…個人の特定のスキルや知識の習得を短期間の学習成果として証明する仕組み。



はまぎ かし 議員（自民誠和会）

令和8年度の不登校児童・生徒の対策 にかかる成果目標と取り組みについて



教育長 誰ともつながっていない子どもゼロを目指す



子どもの居場所づくりをイメージしたイラスト(生成AI)

質問 増加傾向にある不登校児童・生徒に対しての町の現状と取り組みについて4点伺う。

問① 各町立小・中学校の児童・生徒数、不登校の児童・生徒数、増加傾向にある不登校児童・生徒の現状と取り組みについて4点伺う。

問② 不登校とされている児童・生徒のこれまでの主な進路先は、**教育長** 令和6年度までの不登校児童・生徒数は増加傾向で、7年度は小学校で微増、中学校で減少している。

問③ 増加傾向にある不登校児童・生徒の現状と取り組みについて4点伺う。

問④ 長期総合計画「不登校対策の推進」を主要な取組に掲げているが、令和8年度の成果目標と取り組みは、**教育長** 誰ともつながっていない子どもがゼロであることを目指している。在籍教室外でも学習支援を受けることができるなどのシステムの充実と実践を進めている。

教育長 多くの高等学校に進学している。不登校児童・生徒に対する取り組みは、**教育長** スクールソーシャルワーカーの配置、教育支援室「いぶき」での支援など、児童・生徒に合わせた取組を進めている。

町長 誰ともつながっていない子どもゼロを目指す

町長 誰ともつながっていない子どもゼロを目指す

町長 誰ともつながっていない子どもゼロを目指す